

説 教

Open Church 礼拝 北浜チャーチ  
黒田 禎一郎

2022年10月23日（日）

主 題：「望みを持って生きよう」

—思考転換—

テキスト：ローマ 15 章 13 節

### はじめに

- ・お早うございます。

{例 話} 人生は、レースを走行するランナーのようである。

- ・役者さんの研ぎ澄まされた「芸」は、本当にお見事で驚きます。  
例えば、今は亡き女優杉村春子さんは、“走る”演技をするとき、役柄の年齢で走り方を演じ分けたと言います。彼女はこう言った。
- ・「いちばん若い頃はアゴで走るのです。年齢がいくにつれて、胸から走る、年を増せば腰から走る……」。箱根駅伝の選手は10代から20代にかけての青年である。胸から走る年齢でしょう。
- ・ところで、私たちはどんな走り方をしているのでしょうか……？  
どのような走り方をしても大切なこと ⇒それは「目標設定」です。  
聖書は次のような走り方を教えています。

聖 書：「どうか、望みの神が、あなたがたを信仰によるすべての喜びと平和をもって満たし、聖霊の力によって望みにあふれさせてくださいますように。」 **ローマ15:13**

- ・ここに「望み」という言葉が出ています。
- ・「望み」：“elpis” エルピス（ギリシャ語）  
⇒ 新約聖書時代に用いられた“Elpis（望み）”は、  
**「目標を達成した満足感から沸きあがる思いのこと。」**  
それはまだ手にしてはいなくも、未来にあることを確信して受ける喜びのことです。
- ・ですから、聖書の語る「望み」（elpis）とは、「喜び」と「期待」を意味します。それを受け止めるのは、信仰です。神はあなたの人生に、真の「喜び」と、真の「期待」、を与えたいと願っておられます。
- ・皆さん！私たちはこの「望み」を得ることができます。「望みの神」から、私たちは「喜び」と「期待」をいただくことができます。では、どうすれば……？

2点

## 大切なポイント

### 1. 思考の転換

#### 1) 私たちの視点

- あなたは日々、どんな思いで日々の生活をお過ごしでしょうか。世の中をご覧ください。余りに暗い話が多いですね。不正、汚職、虐待、いじめ、嫉妬、暴行、殺人等。私たちの心を悲しませる悲しい出来事が多くあります。どうして、こんな不幸が多くあるのでしょうか。
- 悲しい暗い話ばかり聞いていると、当然のこと、口から出る言葉は否定的なことが多くなります。
- いかがでしょうか。私たちは、人生の一面ばかりを見てはいないでしょう。  
 {例 話} 「裏側を見ている時」  
 米国でこのような事があった。一人の牧師が、苦しい試練の中を通っているある婦人を訪問した。牧師は、婦人をなんとかして慰めようと試みた。しかし、牧師の言葉は彼女を慰めることはなかった。彼女の心の中は悶々とし、大変苦しそうであった。
- そこで、牧師は彼女が作っていた「刺繡」を手にした。そしてこう言った。「糸がとても複雑にからみあっていますね。なぜ、このような物を作っているのですか。時間の無駄だとは思いませんか」。  
 すると彼女は、刺繡を表にひっくり返して言った。「先生は裏側を見ておられたのですよ。この表側を見てください。」それは見事な「刺繡」であった。牧師は言った。
- 「その通りだ！ あなたは自分の試練を裏側から見ているのだ。表側、つまり神の側にひっくり返して見ることだ。神が、あなたの人生をすばらしい作品にしようと、働いておられるのが分かるでしょう。大切なことは、神の視点から物事を見るようにすることだ。芸術家である神の素晴らしい腕を、信頼することである」
- 皆さん。私たちも人生を裏側から見ることはないでしょうか。  
 見方を変えて見ること ➡ 思考の転換（重要）  
 ⇒神の視点から見る人生のことです。  
 聖書：私たちは、神の中に生き、動き、また存在しているのです。あなたがたのある詩人たちも、『私たちもまたその子孫である。』と言ったとおりです。使徒17:28

#### 2) 創造神の視点

- 神というお方から見る視点は、全く違います。

聖書は天地の創造神が存在すると教えています。しかも神は被造物を最高作品としてお造りくださいました。被造物をご覧ください。

**植物**：なんとという不思議でしょうか。あの小さな種が発芽し、美しい花を咲かせ、私たちの心を癒やしてくれること。その種類は無数です。

**果物**：日本はフルーツ王国、時が来ると結実し、見事なフルーツが結実する。日本では、実に豊かなフルーツがあります。

**河川の魚**：極小の卵が孵化し、成長し、そして大きくなる。

鮭は必ず元の川に戻ってくると言われます。なぜでしょうか。

**人間**：小さな受精卵は、正常であれば母胎で成長し誕生します。

しかも非常に精巧に造られています。それは不思議です。

- ① 子どもの成長は実に不思議です。ある時期になると、成長ホルモンが出て、数ヶ月で背丈はぐんぐんと伸び成長します。背丈だけではありません。成長に従い心の変化も起こり、大人になって行きます。
- ② 今回コロナパンデミックで話題となっているのは、「自己免疫力」です。免疫力が病原菌に勝れば、病気に勝つことができます。私たちの身体内には免疫力があるのです。どう考えても不思議です。人間の身体ほど不思議はないでしょう。

- ・ 私たちは全て神の被造物です。人間が造り出したものではありません。見方を変えて見ることは大切です。
- ・ 神は被造物にそれぞれ目的を持っておられます。そうです。神は私たちに目的を持っておられます。しかし、私たちが苦しみ、不幸、悲しみばかりを見ていると、心はその思いに支配されて行きます。
- ・ ですから、思いを、考えを 変えてください。では、どのようにすれば変わるのでしょうか？  
➡ 良い、肯定的なことに注目すること（聖書を読む）

### 3) 望みの神の視点

- ・ 聖書は語っています。

**聖書**：「どうか、望みの神が、あなたがたを信仰によるすべての喜びと平和をもって満たし、聖霊の力によって望みにあふれさせてくださいますように。」 **ローマ15:13**

- ・ 聖書は、神は「望みの神」と教えています。望みには、「喜び」と「期待」が潜んでいます。

「喜び」は神からの贈物です。私たちは人間関係の困難を覚えると、自分に責任があるとは思いたくありません。むしろ他人に矛秋を向けてしまい易いもの

- です。しかし、まず自分が変えられることによって、人間関係は変わります。
- ・「期待」もそうです。それは肯定的な期待です。良いことが起こるという期待です。なぜなら、神は良い神であるからです。
  - ・では、望みを持って生きるには、どうすれば良いでしょうか。
    - ➡「思考の転換」です。そしてもう一点大切なことがあります。

## 2. 価値観を知ること

### 1) 人は価値ある存在です

- ・人の本当の価値は、財産、学歴、名誉、地位などによるものではないことは承知しています。では、一体どこに人の価値あるのでしょうか。
  - {例 話} 「あなたは特別に造られた人である。」
- ・もうすぐ寒い冬がやって来る。今年の冬は、予報では寒波がやって来るそうだ。大寒波が来襲すれば各地は大雪に見舞われ、交通機関もストップし、いろいろ支障がでてくるでしょう。
- ・雪が出来る過程は、それは大変興味深い。空にある雲は水蒸気を含んでおり、上空の気温が低いときに、氷の結晶が発生する（この氷の結晶を氷晶と呼ぶ。）氷晶は液体の水が凍ってできたものではなく、主に気体の水蒸気が昇華して直接固体になってできたものである。雲の中で、できはじめた頃の氷晶は非常に小さく、直径0.01mm以下だそうだ。この微細な氷晶の周囲には、高い密度で微細な水滴が浮遊していて、その水滴が蒸発して氷晶の表面に昇華することで、氷晶が成長していくそうだ。
- ・それに、氷晶の形の大部分はこの過程で決まると言われ、温度や風などの条件によってさまざまな形になると考えられている。その氷晶が集まり雪となる。雪は直径0.5mm - 10mm(1cm)くらいである（中には大きなものもある）。
- ・ところで、米国で雪の結晶を専門的に研究した科学者がいた。彼は顕微鏡を通して、なんと2千以上の雪の結晶の写真を撮った。しかも、ひとつひとつの結晶は幾何学的に完全な形をしており、どれ一つとっても同じ形のものがないことを発見しました。神は雪の結晶、一つ一つを特別にデザインされたのです。
- ・同じように神は、人をユニーク（独創的）な存在として創造された。神は芸術家である。私たちは、その作品だ！貴重な作品である。考えてくださ

い！あなたと、全く同一人物は一人も存在しない。

芸術性が高い作品 ⇒それがあなたである。

- ですから、あなたには、価値（値）がある。これは神の視点から見るあなたです。大切なことです。

## 2) 神が期待する人

- では、何が必要でしょうか？ ⇒ 創造神を信頼すること

{例 話}

- 仮に、神は山の上にいるとしましょう。その神は全能で、すべての問題を解決出来るお方。山上からは一目瞭然で、すべてを見通すことができる。そして、そこに登るのは、どの道が一番効果的であるかを知っている。
- あなたは今、その山の頂上に登って行こうとしている。まもなく山上に到達し、山上にいるお方にお会いしようとしている。

目標に近づくと；私たちは、

- ② 勇気がわいてくる、
- ② 力がわいてくる
- ③ 平安が与えられる。

⇒この思いこそ「望み」(elpis)

聖書： どうか、望みの神が、あなたがたを信仰によるすべての喜びと平和をもって満たし、聖霊の力によって望みにあふれさせてくださいますように。 ローマ15:13

- 神の約束は「然りであり、アーメンである」と聖書にあります。その代表的なものは、イエス・キリストの死と復活です。聖書はメシアが来臨されること、そして死んで、三日目に復活されることを預言してきました。復活は神の言葉を信じる者に、「期待」からくる喜びを与えます。それを受け止めるのは、「信仰」です。

- では、どうすればよいか？ ⇒罪を除去すること（条件）

神は、イエス・キリストをこの地に送られました。そしてイエスを十字架にまで送り、大きな犠牲を払われました。罪を知らない方を、罪人とされ裁かれました。罪人の身代わりとされました。それほどに、

- 神はあなたを愛してくださっています。神はあなたが、天の御国に入る者となることを、願っておられます。神は、あなたが「望み」に生きる人となることを願っておられます。

- いかがでしょうか。あなたも天の御国に入る、「真の望み」に生きる人となってください。それには、神の前に正直に立ち、罪を悔い改めることです。神はすばらしい救いの道を備えられました。あなたはイエスの十字架の死は自分のためであったと、信じるならば救われます。
- 1ヨハネの手紙1章
  - 1:7 もし私たちが、神が光の中におられるように、光の中を歩んでいるなら、互いに交わりを持ち、御子イエスの血がすべての罪から私たちをきよめてくださいます。
  - 1:8 もし自分には罪がないと言うなら、私たちは自分自身を欺いており、私たちのうちに真理はありません。
  - 1:9 もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。
- イエスはあなたの人生に「望み」(希望)を与えられます。あなたを愛し、あなたのために地上に来られたお方です。そして十字架への道をまっすぐに歩まれたお方です。あなたは今、天の御国へ向い歩む人ではないでしょうか。
- 何が大切かでしょうか

## ま と め

主 題：「望みを持って生きよう」

—思考転換—

- 今朝も主はお語りくださいました。一度しかない私たちの人生、私たちはどのように生きるものでしょうか。人生に望みを持っているでしょうか。
- 「望みの神」(エルピス)とは、「喜び」と「期待」が伴います。では、どうすれば良いでしょうか。
- 1. 「思考の転換」をすること
 

人生を裏側から見るのではなく、表側から見るのが大切です。それは見事に作られた「刺繍」のようです。(聖書を読むこと)
- 2. 「真の価値観」を持つこと
 

神は芸術家です、あなたという幸いな作品を造られました。いかがでしょうか。神を見上げ、天の御国へ入る「望み」をいただいて歩もうではありませんか。

\* God bless you !